

プラザ通信

Bic Akita Plaza Communication

あきた企業活性化センターより

デザインの はじめ方

③「誤解です!」

これまで【デザインのはじめ方①「デザイン?」】では、デザインの持つ二つの役割、「価値を伝えるデザイン」と「価値を加えるデザイン」に触れ、【デザインのはじめ方②「伝えるデザイン、できていますか?」】では全ての商品に最低限必要な「価値を伝えるデザイン=価値を損なわないデザイン」という内容でお届けしました。

あきた産業デザイン支援センター事業がスタートして7ヶ月が経ちました。相談に対応する中で、「デザインのこと、誤解していました…」とのコメントをいただく事が少なくありません。今回は、このデザインを取り巻く「3つの誤解」について、なぜ「誤解」されているのか?では実際のところはどうなのか?を解説します。

■ ① 言葉の誤解 「デザイン?よくわからないから関係ない!」

「デザイン」の付く言葉が溢れています。色や形を意味する事もあれば、計画・設計という意味で使われる事も。すると「デザインとは何なの?」との疑念から「よくわからない」「胡散臭い」といった印象を持たれる方も少なくありません。便利な言葉なので色々な場面で目にしますが、一般産業においては、「課題解決の為に検討、その結果」を指します。



■ ② 成果の誤解 「センスが全てでしょう?じゃあうちには関係ない!」

デザイナーもアーティストも絵を描き、立体を作ります。言葉を綴り、形を与えます。その為、「どちらもセンスが必要だし、それが全てでしょう?」と混同されがちです。

デザイナーは「課題解決」の為に手を動かします。一方、アーティストは自己表現の為に手を動かします。両者の間にはその「目的」において大きな違いが存在します。



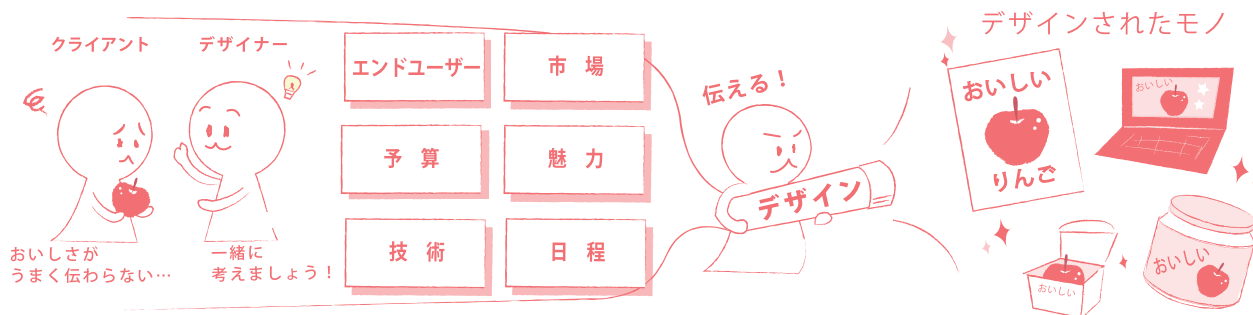
■ ③ 情報の誤解 「大企業がお金をかけてやるものでは?じゃあうちには関係ない!」

テレビや雑誌に取り上げられるデザイン。これは、ニュースとしての分かり易さが求められる為、資金や人材・技術、スケジュールなどが余裕を持って組まれた「最高」の条件でのデザインが取り上げられる事がほとんどです。かつていい車、最新のファッション、洗練された家電。しかし、限られた条件の中で「最適解」へと導くのもデザインです。



■ デザインとは?

受け取る立場では、なんとなくの「色・形」を示す言葉として使っても何の問題ありません。しかし、作り手側・商品を送り出す側に立つならば、デザインの意味を理解し、有効に活用する必要があります。受け取り手の事を考え、様々な要素を検討・調整し、きちんと伝わるかたちにしていくのが「デザイン」という作業です。



作り手にとっての「デザイン」の意味を理解し活用を!

お問い合わせ先

あきた産業デザイン支援センター

TEL 018(860) 5610 E-MAIL info@idsc-akita.net URL <http://idsc-akita.net>